

東和地域支援室通信

令和4年6月号

東和総合支所地域振興課地域支援室：東和町土沢8区60 電話 41-6514(直通)

地域支援室の業務紹介

東和総合支所地域支援室では次の業務を行っています。

1. コミュニティ地区のまちづくりに関すること
 2. 振興センターに関すること
 3. 生涯学習施設及び体育施設の使用料の収納に関すること
 4. 生涯学習及び芸術文化活動の推進に関すること
 5. 地域独自の企画立案に関すること
 6. 総合政策部地域づくり課及び生涯学習部各課の所管事務に関する相談対応など
- ※移住・定住に関する業務は東和おもしろ作戦会議へ委託

地域支援室って
どんな仕事を
しているの？



コミュニティにかかわる業務、地域支援室通信による地域情報の発信をはじめ、日々幅広い業務を行っています。

🏠移住・定住ミニ情報🏠

今月は空き家バンクへの登録手続きの手順等をお知らせします。

①まずは相談	窓口または電話で東和おもしろ作戦研究所へご相談ください。空き家バンクについてご説明します。
②状況を聞き取り	持ち主の方や相続関係、建物の状態、土地の形態（災害指定関係等）などについてお話を伺います。
③必要書類提出	登録申込書、誓約書、課税明細書の写し、登記簿の全部事項証明書の提出にあたり、土地・建物等の面積など物件の詳細を記入していただきます。
④担当者選定	担当する不動産業者を取扱業者一覧から選んでいただきます。
⑤現地調査	所有者立ち合いのもと、不動産業者の現地調査を行います。聞き取りの確認や建物の状態等の調査、空き家バンク掲載用の写真撮影を行います。
⑥登録可否判断	不動産業者からの調査結果報告に基づき、市が登録の可否を判断し、所有者に連絡します。（状況により登録できない場合がありますのであらかじめご了承ください）
⑦平面図作成・表示価格算定	不動産業者が平面図を作成するほか、表示価格を算定し所有者と調整します。
⑧空き家バンク登録	物件情報を空き家バンクに登録し、インターネットサイトで情報発信します。

空き家バンクの登録は上記のとおり様々な手順を踏むため、登録が決定しインターネットに掲載となるまでに時間を必要としますので、何卒ご理解をお願いします。

【問合せ】

☎花巻市役所定住推進課定住推進係 41-3516 (直通)

☎東和地域

受付場所 東和町土沢5区372番地 東和おもしろ作戦研究所内

TEL：29-6500 FAX：29-6501 Eメール：omoshiro@leaf.ocn.ne.jp

受付時間 月～金 9：00～12：00 担当：菅野 大石

そのほかの時間帯は留守番電話に入れていただければ折り返し連絡を差し上げます。



今回から始まる連載企画では、元地域おこし協力隊の岡田芳美さんに、東和地域の移住者にまつわる情報を発信していただきます。岡田さんは以前エフエム・ワン（えふえむ花巻）でコーナーを担当しており、コーナー名はよりニッチな地域情報という意味から「もっとローカル！」。同タイトルでの連載となる本通信で、「もっとローカル」な情報をお楽しみに！

～プロフィール～ 岡田 芳美／おかだ よしみ

千葉県に生まれたが、父親が農業をやりたいと脱サラ&1ターンを決め、東和町へ。高校卒業後に上京し、2016年にUターン。移住二世と自称することも（笑）地域おこし協力隊としては花巻市全域の「広報・PR」を担当し、産休育休を経て2020年3月で任期終了。現在は東和町内（実家からスープが冷めない距離）に暮らしている。

はじめまして！ イージュはなまきの岡田です。

『イージュはなまき』は、花巻にUターンした（戻ってきた）ヨメと埼玉からの1ターンのダンナ（とムスメたち）が言い出しっぺとなり、2019年の春にスタートしました。移住、そして現在進行形の子育て…！ 人生が大きく変わった自分たちの経験から、自分たちなりの“移住者のサポート”や“交流の場づくり”を目指しています。ちなみに『イージュ』には、“移住”そして“いい住（いい住まい）”という意味を込めています。コロナ禍でなかなかできていませんが、

「ゆるくつながる移住者交流会」を企画したり、移住者向け情報を発信していますので、ぜひWEBサイトやSNSをご覧ください。こちらの連載では、東和地域の移住者にスポットをあててご紹介していきたいと思います。どうぞよろしくお祈いします。

Facebook



WEBサイト



Instagram



東和の生き物12か月

野鳥(サシバ)の研究で修士課程を修了した地域支援室 糸川拓真主査が、東和地域で観察できる生き物について解説します。

6月 「トノサマ」じゃない！？トウキョウダルマガエル

春も終わり梅雨を交えながら夏に突入する季節、蒸し暑くなる日も増え、東和で暮らす生き物達もさらに生き活きと動きまわる姿を目にするようになります。この頃になると、水田から「グゲゲ・・・・」と低い声のカエルの合唱が聞こえてくるようになります。今回は、この声の主、トウキョウダルマガエルの紹介を簡単にしたいと思います。

トウキョウダルマガエルは、全長3cm～8cm程度のカエルで、とても俊敏に動き回り、昆虫や小型の爬虫類、両生類を捕食します。その一方で、サシバなどの中型、大型の鷹や獣、ヘビなどの餌となっており、昔から東和町の生態系を下支えしている貴重な固有種です。夏は繁殖のため活発に動きますが、冬は藁や水田の土の中で冬眠します。

その姿は、名前が非常に有名な親戚の「トノサマガエル」と酷似しており、背中や足の長さなど違いはありますが、個体差も結構あることから、はっきり種類の違いを見分けるのは難しいです。東和町には、基本的にトウキョウダルマガエルが生息しています。

トウキョウダルマガエルは、分布が少し特殊で、基本東京から北に分布しており、東北では、東和町を含む岩手県、宮城県、青森県に分布していると言われております。一方、秋田県、山形県では、トノサマガエルが分布していることが研究などで判明してきました。

姿や生態がとても似ていることから、1930年代までは、トノサマガエルが全国に分布していると言われておりました。しかし、遺伝子解析など、科学の進歩とともに、種類に違いがあることや、分布などが徐々に明らかになってきています。

昔から、夏の東和町の景色の一部のように当たり前息づいているトウキョウダルマガエルですが、トノサマガエルとともに令和となった今でも新たな発見のあるカエルです。

